

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

2020年1月8日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

2019年度ALPS国際シンポジウム —脱炭素に向けた長期戦略— 開催のご案内

2015年12月の気候変動枠組条約の第21回締約国会議（COP21）においてパリ協定が合意され、2016年11月に発効しました。世界の大多数の国が2020年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等をNationally Determined Contributions (NDCs)として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。

国際的に気候変動対策の強化を求める動きが強まってきており、早期の脱炭素化社会実現を求める機運も高まってきています。2019年12月のCOP25でも多方面からその要請が強く出されました。また、2019年6月には、我が国も長期的な温室効果ガス低排出型の発展を目指した「長期低排出発展戦略」を国連に提出し、社会実装可能なコストを実現し、非連続なイノベーションを創出するため、「革新的環境イノベーション戦略」の検討を進めています。2050年以降の長期にわたる温暖化対策やグリーン成長に関する議論が国内外で活発になってきています。

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクへの対応についても検討を行ってきています。更には、昨今のIoTの進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要サイドの革新につながり、効用（サービス需要）を下げずにエネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討などにも取り組んできています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクがあるなか、「脱炭素社会」実現に向けた国内外の要請を鑑みて、「脱炭素化に向けた長期戦略」をテーマとし、また本研究事業の成果報告会を兼ねて2019年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野に造詣の深い海外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂くとともに、温暖化対策に取り組んでいる企業の方にもご参加頂き、将来的な低炭素、更には脱炭素化に向けた取り組み・展望をご紹介して頂きます。地球温暖化を抑制し、長期的には脱炭素化を目指し、持続可能な社会を実現するために必要な取り組みについて、幅広い方々が最新の研究成果や企業の取り組みをもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

1. 開催概要

主催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

日時： 2020年2月13日（木） 10:00-17:40

会場： 虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール

（東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 5階）

プログラム：

10:00	開会挨拶	茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	講演	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長 “脱炭素社会の姿と実現へのシナリオ”
10:40	講演	Nebojsa Nakicenovic, Executive Director, The World in 2050 (TWI2050) “Strategies for achieving carbon neutrality by mid-century and their multiple co-benefits”
11:15	講演	Joyashree Roy, Bangabandhu Chair Professor, Asian Institute of Technology, Thailand (on lien from Professor of Economics at Jadavpur University, Kolkata) “Energy demand scenarios and analysis: a global south perspective”
11:50	休憩	
13:15	パネル 討論	「低炭素、そして脱炭素社会に向けた産業界の取り組み・ビジョン」 モデレーター：秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー パネリスト： 岡本 浩 東京電力パワーグリッド株式会社 取締役副社長 穴水 孝 東京ガス株式会社 代表取締役副社長執行役員 手塚 宏之 JFE スチール株式会社 技術企画部専門主監（地球環境）
14:55	休憩	
15:15	講演	Michael Grubb, Professor of Energy and Climate Change, University College London “To be determined”
15:50	講演	Leon Clarke, Research Professor, University of Maryland “Subnational climate mitigation in the U.S. and implications for the rest of the world”
16:25	講演	Elena Verdolini, Senior Researcher, RFF-CMCC European Institute on Economics and the Environment (EIEE) “To be determined”
17:00	講演	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー “脱炭素化社会に向けたエネルギーシステムの変革とイノベーションの役割”
17:35	閉会挨拶	本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

2. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先

- ・ シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先
システム研究グループ

TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317

- ・ 広報に関するお問い合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 川口、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314 E-mail: pub_rite@rite.or.jp